



齋藤 実(NPO法人南相馬サイエンスラボ 理事長: 理学博士)

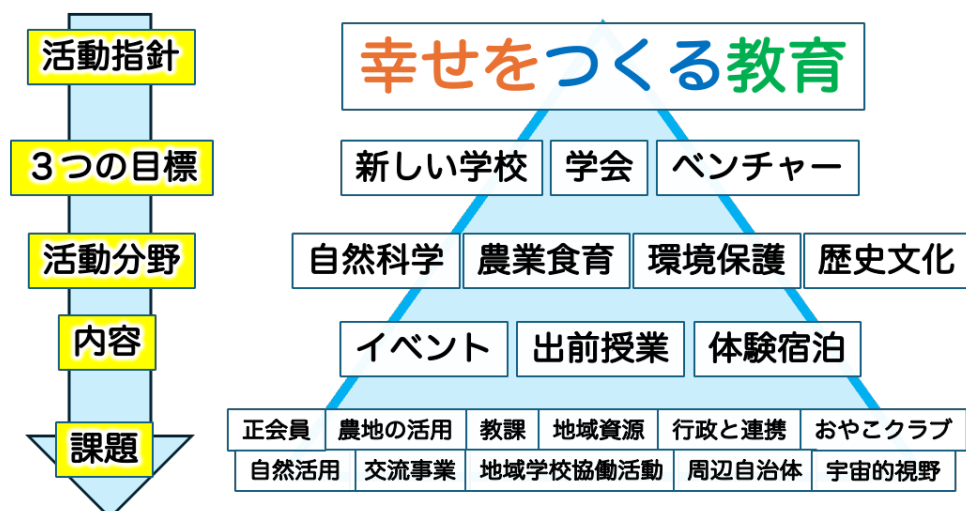


はかせ

「幸せをつくる教育」(活動指針) について

私たちの身の回りには、いつも見ている、食べている、触れている、そんな当たり前のものがたくさんあります。それらの多くは学校で習っていたり本に載っていたものかもしれません。それらの「ものごとの仕組み」も知らなくても生きていけるかもしれません。でも私たちは、体験や経験を通して、本当に分かった時に感じる「あっ! そうなんだ!」という感動(幸せ)を大切にしています。私たちは身近なものを科学する体験教育活動によって「幸せを感じる機会をたくさんつくりたいと考えています。ですから、「幸せをつくる教育」は「幸せを(感じる機会を) つくる教育」なのです。

<将来の目標>



南相馬サイエンスラボの3つの目標

①新しい学校

学校でも家庭でも学ぶことが難しいことを体験や経験を通して学ぶ学校。学校で不足しがちな実践教育を行うため、子どもたちは学ぶことの楽しさを理解し、学習意欲の向上が見込まれる。

②幸せをつくる教育学会

幸せをつくる教育をを実践している個人や団体が集まり、その成果を発表し合う場。

③教育プログラム研究開発ベンチャー

実践教育プログラムを開発し、販売するベンチャー企業です。

<主な活動>



お米づくり



野菜づくり



屋外調理



科学や宇宙



歴史や文化



YouTube



出前授業①



出前授業②

